保存版

令和６年度　南海トラフ地震に関連する情報発表時及び大規模災害（直下型地震等）発生時の対応について（改定版）

名古屋市立千年小学校

①　南海トラフ地震に関連する情報（注意）が発表された場合の対応について

通常通り授業を行う。

②　南海トラフ地震に関連する情報（警戒）が発表された場合の対応について

規準となる時間帯	対応
在宅中	千年小学区は事前避難対象地域のため、住民は可能な限り対象地域外へ１週間避難する。 また、千年小学校は避難所となるため、原則１週間休校となる。
在校時	直ちに授業をはじめとする教育活動を打ち切り、保護者もしくは、引き取り者の迎えにて下校させる。 児童は、引き取りがあるまで学校で待機する。その後、原則１週間休校となる。
登下校時	登校中に情報が発表された場合は、原則としてそのまま登校し、「在校時」に準じた対応をする。 下校中に情報が発表された場合は、原則としてそのまま下校し、「在宅中」に準じた対応をする。

③　大規模災害（直下型地震等）が発生した場合の対応について

規準となる時間帯	対応
在宅中	学校は、臨時休業。児童は、学校からの連絡があるまで自宅で待機する。
在校時	授業をはじめとする教育活動を打ち切り、児童の安全を確保し、学校で待機する。 その後、保護者もしくは、引き取り者の迎えにて下校させる。引き取りがあるまでは、児童は学校で待機する。 翌日以降、学校から連絡があるまで、臨時休業とする。
登下校時	登校中に災害が発生した場合は、職員が被害状況や児童の登校状況を確認に出向き、登校できる状況であれば、そのまま登校する。登校できた児童については「在校時」に準じた対応をする。 下校中に災害が発生した場合は、原則としてそのまま下校し、「在校時」に準じた対応をする。

※　暴風・台風・大雨等に対する措置と同様に、「きずなネット学校連絡網」で連絡を行います。（状況によっては、各家庭への連絡が不可能になることが予想されるため、②、③の場合は、原則としてすぐに学校へ児童を引き取りに来てください。

※　この文書は、最新版が配付されるまでは、無くさないようにご家庭で保管し、いつでも確認できるようにしてください。